

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【国語／古典B】

1. 対象（実施を想定する学校・生徒の実態の概要）

2年生の特進クラスで、文系〇人と理系〇人の計〇人の混合集団である。国公立大学を目指す学力をつけるという目的で設立されており、四年制大学を中心に進学を目指す生徒が所属するクラスである。そのため、小テストや定期テストでは高得点を取る生徒が多く、授業内での教師の説明をよく聞くので内容が定着しやすいが、自ら考えて内容理解を深めたり、課題を見つけて取り組んだりすることが苦手である。本単元では、作品を通じて、文章の現代語訳から作品に表れている考え方を解釈する思考力をつけ、そこから自分の考えを広げさせたい。

2. 単元名「作品を通じて、当時の考え方や状況を理解し、内容を解釈する。」（全2時間）

教材：紫式部日記「同僚女房評」

3. 単元で育成すべき資質・能力の三つの柱につながる単元の評価規準

①知識・技能	古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 古典探究〔知識及び技能〕(1)イ
②思考・判断・表現	読むことにおいて、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 古典探究〔思考力、判断力、表現力等〕「A 読むこと」(1)カ
③主体的に学習に取り組む態度	積極的に作品について理解を深め、自分の考えを広げようとするとともに、学習課題に沿って話し合い、深めた考えを文章にまとめようとしている。

4. 本時の目標（単元としての案なので略）

5. 授業展開【 本時 ・ 単元 】

解決したい課題や問い
紫式部の考える女性の理想像を、自分の言葉でまとめてみよう。

考えるための材料A	考えるための材料B	考えるための材料C
紫式部が考える「和泉式部」の長所と短所をまとめる。	紫式部が考える「赤染衛門」の長所と短所をまとめる。	紫式部が考える「清少納言」の長所と短所をまとめる。
想定される活動 「けしからぬ」「はかない言葉のおひも見え侍る」「歌はいとをかしき」「歌のことわり、まことの歌詠みざまにこそ侍らざめれ」 「恥づかしげの歌詠みやとはおぼえ侍らず」という表現から考察する。	想定される活動 「ことにやむごとなきほどならねど」「歌詠みとて、よろづのことにつけて詠み散らさねど」「それこそ恥づかしき口つきに侍れ」という表現から考察する。	想定される活動 「清少納言こそ、したり顔にのみじう侍りける人」「さかしだち」「まだいと足らぬこと多かり」「そのあだになりぬる人の果て、いかでかはよく侍らむ」という表現から考察する。
それぞれをエキスパート資料として、ジグソー活動に統合し、課題に取り組む。		

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

【エキスパート活動】材料ごとに4人のグループを作り、課題に取り組む。

（材料A）活動を通して、和泉式部が、文章や和歌の才能があり、趣深い言葉を使える点では良いが、好色である点、和歌の批評の力が不十分である点では評価できないと述べられていることに気付く。

（材料B）活動を通して、赤染衛門が、奥ゆかしさがあり、格別に優れているというほどではないが、和歌の詠みぶりがすばらしいと述べられていることに気付く。

（材料C）活動を通して、清少納言が、得意げに利口ぶっているが未熟で、人より優れていたいと思ひ、何でも風流気取りで軽薄であると述べられていることに気付く。

【ジグソー活動】各エキスパート1人からなる3人グループをつくり、紫式部の掲げる女性の理想像と紫式部がそう考える理由について、まとめる。着目点として、「紫式部はこの批評文で誰について特に述べたかったのか」に触れる。

▶まず三人に共通する長所と短所をまとめてみよう。▶和泉式部と赤染衛門には長所が述べられているけれど、清少納言は短所だけだよ。▶和歌が上手ということは、二人の長所の共通点と考えられるね。▶じゃあ次は短所を見てみよう。▶赤染衛門にはあまり短所はないのかな。▶和泉式部は恋が多いことと和歌の批評力が不十分だと言われている。▶清少納言は得意げだ、とか、人より優れていたい、とか風流気取りだ、とか非難されているね。▶二人の共通点は…？▶清少納言は仮名の知識も不足していると言われていることから、「知識がない」ということが短所の共通点の一つかも。▶じゃあ、逆に言えば、知識があるということが女性にとって大切だと紫式部は考えているのかな。▶他にはどうだろう？▶和泉式部の恋が多いということと、清少納言が利口ぶるということの共通点は何だろう。▶「積極的」ということかな。悪く言うと、「でしゃばり」とか？▶確かに、赤染衛門についても、「歌は上手だけれど、詠み散らしたりしない」と述べられているね。これは多分、赤染衛門の長所として書いていることじゃないかな。▶とりあえず、紫式部は知識をひけらかさないことが大事だと考えているとわかるね。▶そう言えば、赤染衛門は夫婦仲が良いから「匡衡衛門」と呼ばれていたんだよね。それって和泉式部と少し違うかも。一人の夫を支えているというか…▶それをまとめると、恋愛に対して積極的な女性より、一途な女性の方が良いと紫式部は考えていたということになるね。▶つまり、紫式部の理想の女性像は、和歌が趣深く詠めて、知識や教養があってもそれを隠す、そして、恋愛に対しても控えめである女性ということだね。▶でも、紫式部は本当にそう思っていたのかな？教養があることを隠すのも、少し窮屈じゃない？▶確かに。もしかしたら、紫式部は清少納言のことを少し羨ましかったのかも…

・全体で共有し、どう感じるかについても含めて意見を交換する。その後、課題を個人で再考する。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- 紫式部の女性の理想像は、和歌が上手で、また知識や教養があってもそれをひけらかさない、恋愛に対しても控えめである、という女性である。
- 情感を込めて良い歌を詠めるだけでなく、知識や教養があることも重視している。しかし何事についても出しゃばらず、控えめで奥ゆかしい生き方を理想と考えている。女性らしい女性を理想と考える保守的な考えの持ち主である。
- 男勝りな性格の清少納言や、自由奔放な恋愛で浮名を流した和泉式部には手厳しい批判を加えているが、これは羨望の裏返しである。眉をひそめ、蔑んではいるものの、そのような生き方ができない自己を正当化するための言動とも受け取れる。理想は赤染衛門のような控えめでおっとりした女性だが、内心、逆の生き方をする女性のことも羨ましく思っている。